



2021年 5月 14日

各 位

会 社 名：株式会社ゼンショーホールディングス  
代表者名：代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎  
(コード番号 7550 東証第1部)  
問合せ先：執行役員 グループ経本部長 丹羽 清彦  
(TEL：03-6833-1600)

## 2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び特別損失の計上に関するお知らせ

2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、特別損失の計上につきましても、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想と実績との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 625,403	百万円 8,839	百万円 7,396	百万円 1,000	円銭 6.56
実績値 (B)	595,048	12,088	12,215	2,259	14.82
増減額 (B-A)	△30,355	3,248	4,819	1,259	—
増減率 (%)	△4.85	36.75	65.16	125.95	—
(ご参考)前期 通期実績 (2020年3月期 通期)	630,435	20,918	19,903	11,978	80.31

#### 2. 差異の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、お客様の新しい生活スタイルに対応した商品開発や販売体制の強化を行い、人件費や販売管理費等のコントロールも行いながら、収益確保に努めてまいりました。また、休業に伴う雇用調整助成金等 1,923 百万円を営業外収益に、営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金 7,604 百万円を特別利益に計上するなどした結果、各段階損益において、当初予想を上回りました。

#### 3. 特別損失の計上について

2020年4～5月及び2021年1～3月の緊急事態宣言下における営業時間短縮要請により不稼働となった時間相当の店舗家賃及び人件費等の固定費を、新型コロナウイルス対応による損失として7,864百万円計上いたしました。また、店舗・工場等の減損損失及び店舗の閉店・改装等による固定資産除却損を7,012百万円計上し、計14,876百万円を特別損失として計上いたしました。

以上